[redacted]　大阪ガスのお問い合わせ先　[redacted]

大阪事業本部	〒550	大阪市西区千代崎3丁目南2−37	電話 大　阪	06 (686)1122
南部事業本部	〒590	堺市住吉橋町2−2−19	電話　堺	0722(38)1131
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1−5	電話 和歌山	0734(31)2481
北東部事業支社	〒578	東大阪市稲葉2−3−17	電話 河　内	0729(62)1131
北部事業所	〒569	高槻市藤の里町39−6	電話 高　槻	0726(71)0361
奈良支社	〒631	奈良市学園北2−4−1	電話 奈　良	0742(44)1111
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1−8−2	電話 神　戸	078(360)3100
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4−8	電話 姫　路	0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6−57	電話 豊　岡	0796(23)2221
京滋事業本部	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1	電話 京　都	075(311)7381
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5−34	電話 草　津	0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12−11	電話 彦　根	0749(22)8131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3−4	電話 長　浜	0749(62)7171
本　　社	〒541	大阪市中央区平野町4−1−2	電話 大　阪	06 (202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉じ、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガス、サービスショップにご連絡ください。

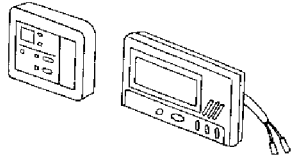
GY0007

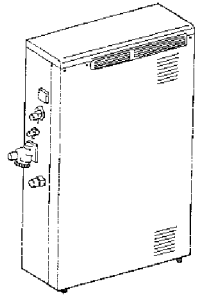
屋外設置形（ＢＬ認定品）

ガスふろ給湯器

全自動タイプ
３１−０４３型

型式名　ＴＰ−ＦＱ２４５ＡＺＲ





取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み十分に理解したうえで、正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。
なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器（全自動タイプ）をお買い上げいただき、ありがとうございました。

・取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

特長・機能の紹介

■給湯もふろ沸かしもこれ1台でOKです。

給湯器とふろがまを一体にした1台で2役のガスふろ給湯器です。

■湯温と水位は機器におまかせ。

（25ページ参照）

「自動」スイッチを押しておけば、約4時間はお湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動でたし湯します。

■上下の温度差が少ない。

浴槽のお湯はポンプによって循環しているのでほぼ均一に沸き上がります。

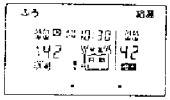
■スイッチ、ポンでおふろの沸き上げができます。

（21ページ参照）

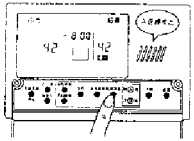
栓をして、ふたをして「自動」スイッチを押せば、あらかじめセットしておいた湯温、湯量で沸き上げます。お湯の入れ過ぎ、沸かし過ぎがありません。

■浴室リモコンは、見やすい蛍光表示。

（12ページ参照）

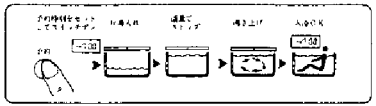


■音声ガイドで、リモコン操作は簡単。



■お好きな時刻におふろに入れる予約タイマーがついています。

（32ページ参照）



■ミキシング機構を内蔵し、給湯断続使用時の湯温の安定性を向上させました。（Q機能）

■ふろがま内の自動洗浄機能付き。

（26ページ参照）

浴槽の水を排水するときに、水位が上部循環口より下がってから1分間自動的にきれいなお湯をふろがま内へ注湯して洗浄します。（リモコンの運転スイッチが「切」のときは行いません。）

もくじ

・特長・機能の紹介 ―― 1
・安全に正しくお使いいただくために ―― 3
・必ずお守りください ―― 4

使いかた

・各部の名前と参照ページ ―― 10
　機器本体 ―― 10
　浴槽 ―― 10
　浴室リモコン ―― 11
　台所リモコン ―― 14
・はじめて使うとき ―― 15
・現在時刻の合わせかた ―― 16
・音量調節のしかた ―― 17
・給湯・シャワー ―― 18
・ふろ自動運転 ―― 21
・追いだき運転 ―― 27
・ぬるく運転 ―― 29
・たし湯運転 ―― 30
・ふろの予約時刻の合わせかた ―― 31
・ふろの予約運転 ―― 32
・洗濯注湯 ―― 34
・凍結による破損予防 ―― 36

故障かな？

・故障かな？ ―― 39
　一度確認してください ―― 39
　次のような場合は故障ではありません ―― 39
　浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき ―― 40
　安全装置の種類とその働き ―― 41

点検・手入れなど

・点検とお手入れ ―― 42
・寸法図 ―― 44
・仕様 ―― 45
・アフターサービスについて ―― 46

安全に正しくお使いいただくために

表示について

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示しています。

一般的な禁止　火気厳禁　接触禁止　分解禁止

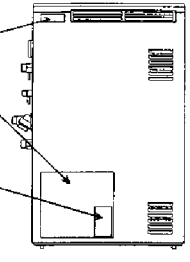
必ず行う　電源プラグを抜け　アースを接続せよ

ご注意 ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

一口メモ 知っておいてほしい内容を示しています。

（○○ページ） 文章中の（　）内のページは参照ページを示しています。

機器本体の表示について



やけど注意
排気口や周囲が高温になるためやけど注意を表示しています。

使用上の注意
使用上の注意について表示しています。

定格銘板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

⚠危険

■屋外用ガス機器

●この機器は屋外式ですので絶対に屋内に設置しない。
不完全燃焼を起こし大変危険です。

⚠警告

■機器設置（および付帯工事）

禁　止

●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後機器を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

●機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。設置工事に不備があると事故の原因となります。

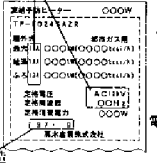
■ガス漏れ時の処置

火気厳禁

●ガス漏れに気づいたときはすべての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気機器（換気扇その他）のスイッチの「入」・「切」や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災のおそれがあります。
①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

■使用ガス・使用電源について

（注）□部分を確認してください。



（銘版例）

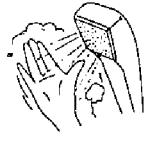
ガス種・電源を確認

●銘板（機器左下正面に貼付）に表示してあるガス（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）の適合を確認する。表示のガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認する。

●わからない場合はお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスに連絡する。

製造年月を表示しています。
例）97・9→1997年9月の製造

■給湯・シャワーを使うとき



手で温度を確かめる

●お湯を止めた後に再利用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一、機器の故障の際には一瞬、あついお湯が出ることがあります。やけどの防止のために出始めのお湯は体にかけない。また、給湯使用時は、出湯管（蛇口）があつくなりますのでやけどに注意してください。

●シャワーを使う場合に最初にあついお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。

●シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。

必ずお守りください

⚠警告

■火災予防

〔可燃物に注意〕

●機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。
火災の原因となります。

●排気口は洗濯物などでおおわない。
不完全燃焼の原因となります。

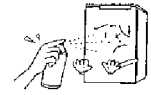
禁　止

〔スプレー缶厳禁〕

●機器の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かない。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

〔引火のおそれがあるものの使用禁止〕

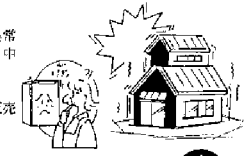
●機器の周囲では、スプレー、ベンジン、ガソリンなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災のおそれがあります。



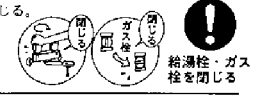
禁　止

■異常時の処置

①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、使用途中で消火する場合はただちに使用を中止しガス栓を閉じる。
②「故障かな？」（３９ページ）に従い処置をする。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスに連絡する。



●地震、火災などの緊急の場合は迅速に使用を中止しガス栓を閉じる。



給湯栓・ガス栓を閉じる

■子供に対する注意

●浴槽の循環口の付近で水に潜ったりすると思わぬ事故につながることがあります。特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。

●おふろを沸かしているとき（浴槽にお湯張りしているとき）に子供を浴室で遊ばせないようにする。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながることがあります。

■ガス接続について

●この機器はねじ接続です。接続は配管技能者が行う必要がありますのでお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスにご相談ください。

■分解禁止

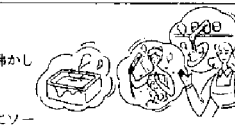
●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない。
異常作動してけがの原因となります。

分解禁止

⚠注意

■用途についての注意

●一般家庭での台所・シャワー・洗面所などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。
思わぬ事故の原因となることがあります。



●この機器をソーラーシステムに接続しないでください。夏期にソーラーシステムの水温が高くなったときはお湯の制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどの危険性が高く、また機器の故障の原因になります。

禁　止

■やけどに注意

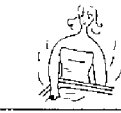
●機器の使用中、または使用直後は排気口とその周辺には絶対に手で触れたりしない。高温になっていますので、やけどのおそれがあります。特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。

接触禁止

■入浴時の注意

●入浴時には十分かきまぜ、手で湯温を確かめてから入浴する。
やけどのおそれがあります。

●追いだき中や追いだき直後は、循環口や循環口の周囲があつい場合があるので注意する。



手で湿度を確かめる

■電気事故防止

●電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。

●傷んだプラグ、コードは使わないこと。差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

●電源プラグはほこりをふき取る。発火の原因になります。

●ぬれた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。

●電源コードを引っぱってプラグを抜かない。コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因になります。

●この機器は接地工事（アース）が必要ですのでアースされていることを確認する。

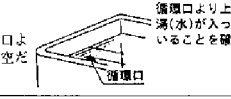
禁　止

アースを接続せよ

ご注意

■浴槽の水位に関する注意

●おふろを沸かすときや追いだきするときは、浴槽の水位が循環口より上にあることを確認する。水位が循環口より低いと、火災、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷の原因になります。



■市販の補助用具について

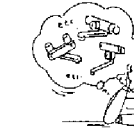
●補助用具はこの機器用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。

●市販の湯冷め防止器などは、使用しないでください。

●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。（わからないときは、販売店に確認してください。）

●混合水栓には、さまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

●やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。

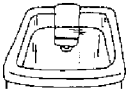


必ずお守りください

ご注意

■入浴時の注意

●浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良でおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



■リモコンについて

●リモコンは、分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
●浴室リモコンは、防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンには、水をかけないでください。
●リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。

■凍結についての注意

●冬期には機器内の水が凍って機器が破損することがありますので凍結のおそれがあるときは３６ページの「凍結による破損予防」にしたがって処置をしてください。

■凍結したとき

●機器や配管が損傷しますと高額の修理費がかかります。（有料）
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●再使用の場合は、凍結がとけた後、全ての給湯栓から水が出ることを確認してください。機器および配管から水漏れがないことを確認後、１５ページ「はじめて使うとき」の項以下の操作を行ってください。
●凍結予防運転のために電気を使用していますから、緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

■飲用にお使いのときは

●機器内に長時間たまった水とえば、朝一番の使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水としてお使いください。

■雷が発生しているときの注意

●雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
●５分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定（給湯湯温・ふろ湯温・水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認した後ご使用ください。

必ずお守りください

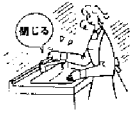
ご注意

■雷が鳴った後、機器が作動しないとき

●落雷の際、お湯が出なくなった場合は機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。このようなときには、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■停電時や電源プラグを抜いたとき

●この機器は停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
停電時は給湯栓を閉じてください。
●再通電したときは、リモコンの設定（給湯湯温・ふろ湯温・水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認した後ご使用ください。
（５分以上の停電のときは再設定が必要です。）



■入浴剤や洗剤についての注意

●強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等の腐食原因となる場合がありますので使用しないでください。
入浴剤の説明文および含有成分等を十分確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
●乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起し、異音を発生させるものもあります。このような入浴剤は、ご使用を避けてください。
●薬草やゆずを入れたり、薬草入り入浴剤といれた場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまってしまいますのでおやめください。

■用途についての注意

●本製品は家庭用ですので業務用にお使いにならないでください。
著しく寿命が短くなります。

■日常の点検・お手入れ

●日常の点検、お手入れをしてください。（詳しくは４２～４３ページをご覧ください。）
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このとき、ご自分で修理などさらずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■長期間使用しない場合

●３８ページの機器内の水を抜く方法により、水抜きを行ってください。
水が長い間流れないと一晩、湧いたお湯が出たり、冬期には、凍結するおそれがあります。

■点火・消火の確認

●使用時の点火、使用後の消火をリモコンの燃焼表示にて確認してください。

必ずお守りください

ご注意 設置状態の確認

■可燃物との離隔距離

●機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください。（わからないときは、販売店に確認してください。）

■設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音など）や排気ガスで迷惑にならない場所に設置してください。（工事する方とよく相談してください。）
●足場などを組まなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

■給排気について

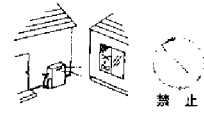
●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。

■塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。
機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

■排気ガス

●排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう、施工してください。外壁が変色したり、アルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
●排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。



■地下水、井戸水の注意

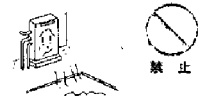
●地下水や井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては配管や機器を腐食させることがあります。

■塩害

●海岸近くに設置する場合、機器が塩分を多量に含んだ雰囲気にさらされると音は、必要な防護処置をとってください。機器が腐食し、故障の原因になります。

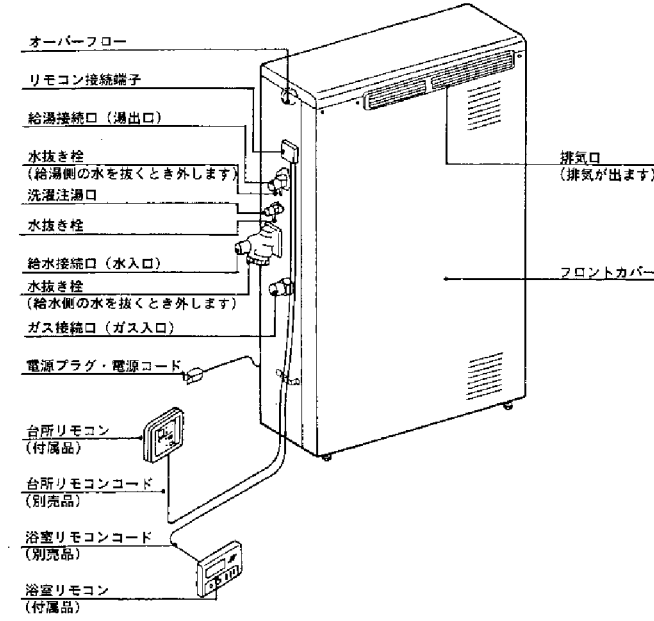
■ほこり

●砂や油煙、ペットも毛などのほこりの立ちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。
（厨房の排気ダクトの近くは油煙による不具合の原因となります。）

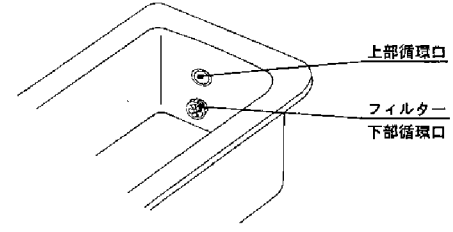


各部の名前と参照ページ

機器本体

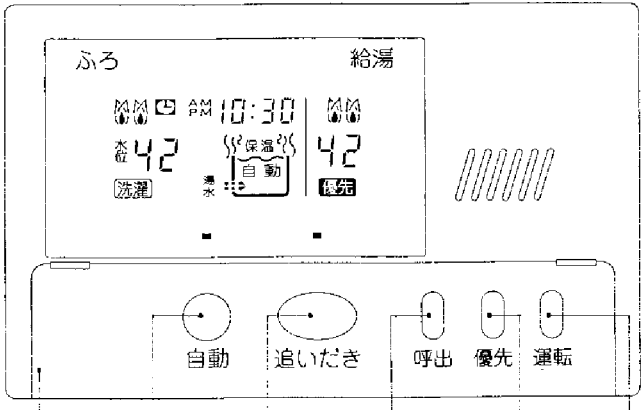


浴槽



浴室リモコン（付属品）

●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。
●浴室リモコンには、操作方法を知らせる音声ガイドが内蔵されています。
●通常はふたを確実に閉じた状態にしておいてください。



ふた

自動スイッチ
ふろの自動運転をするときに押します。あらかじめ浴室リモコンでセットされた湯温、水位でおふろが沸き上がります。
（24ページ）

呼出スイッチ
台所リモコンで呼出しコールが流れます。
（14ページ）

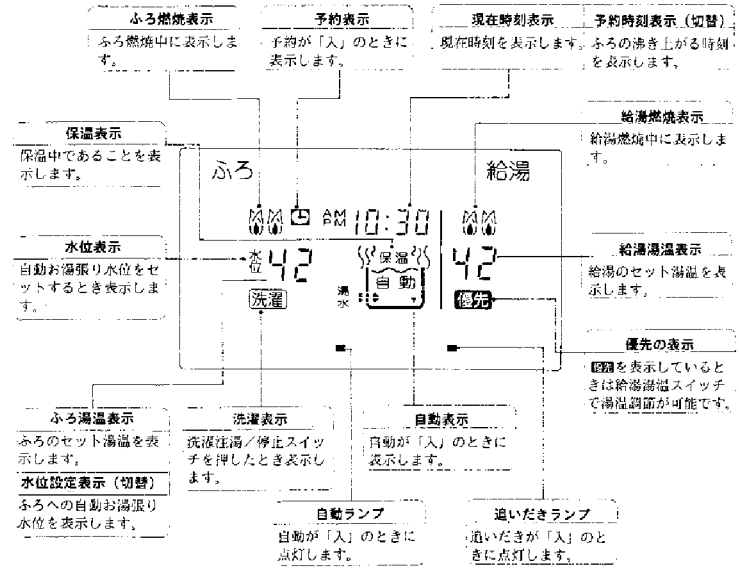
運転スイッチ
操作するとき、最初に「入」にします。「入」にすると、給湯湯温等が表示されます。

追いだきスイッチ
ふろを追いだきするとき押します。
（27ページ）

優先スイッチ
給湯湯温調節の優先権を切り替えるスイッチです。
（19ページ）

浴室リモコンの画面表示内容

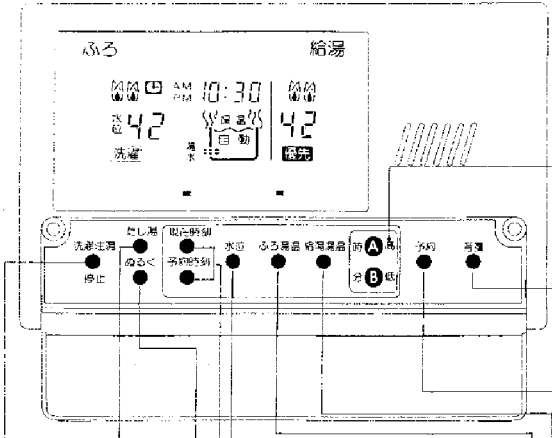
●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。



補足説明		画面表示	操作説明の図
ふろ燃焼・給湯燃焼時	燃焼中は、左右に動きます。		
追いだき・たし湯動作時	上の矢印が動きます。		
自動運転の給湯動作時	上の矢印が動きます。	自動	自動
ぬるくの動作時	下の矢印が動きます		
自動運転の保温動作時	湯気が動きます。	保温 自動	保温 自動

浴室リモコンのふたを開けた状態

●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。
●通常はふたを確実に閉じた状態にしておいてください。



調節スイッチ
現在時刻・予約時刻・水位調節・ふろ湯温・給湯湯温をセットするときに使用します。

音量スイッチ
音量（音声）を調節するときに使用します。
（17ページ）

予約スイッチ
予約運転をするときに使用します。
（32ページ）

給湯湯温設定スイッチ
給湯湯温を調節するときに使用します。
（19ページ）

水位設定スイッチ
水位調節のときに使用します。
（23ページ）

時刻設定スイッチ
現在時刻および予約時刻のセットに使用します。（16・31ページ）

たし湯スイッチ
おふろのお湯の量を増やしたいときに押します。
（30ページ）

洗濯注湯／停止スイッチ
洗濯注湯配管が、されているお宅で使用できます。
洗濯注湯を開始／停止するときに使用します。
（34ページ）

ぬるくスイッチ
ふろ湯温をぬるくしたいときに押します。
（29ページ）

ふろ湯温設定スイッチ
ふろ湯温を調節するときに使用します。
（22ページ）

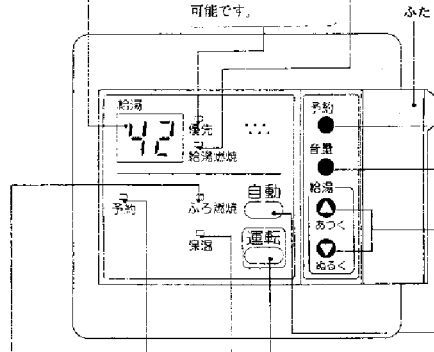
台所リモコン（付属品）

●リモコンの画面表示は説明のためで、実際の運転状態を示すものではありません。
●台所リモコンには、「ふろ沸き上がりコール」などの音声情報がついています。

給湯湯温表示
給湯のセット湯温を表示します。

優先ランプ
優先ランプが点灯しているときは、給湯湯温調節スイッチの操作が可能です。

給湯燃焼ランプ
給湯燃焼中に点灯します。



予約スイッチ
予約運転をするときに使用します。
（32ページ）

音量スイッチ
音量（音声）を調節するときに使用します。
（17ページ）

給湯温度調節スイッチ
給湯湯温を調節するときに使用します。
（18ページ）

自動スイッチ（ランプ）
ふろの自動運転をするときに押します。あらかじめ浴室リモコンでセットされた湯温、水位でおふろが沸き上がります。自動運転中はスイッチが点灯します。
（24ページ）

予約ランプ
予約スイッチが「入」のとき点灯します。

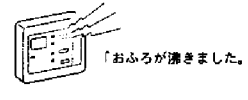
運転スイッチ
操作するとき、最初に「入」にします。給湯湯温が表示されます。

ふろ燃焼ランプ
ふろ燃焼中に点灯します。

保温ランプ
保温中に点灯します。

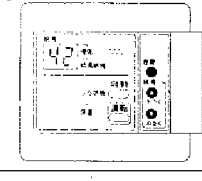
【呼出しコール】
・おふろで呼出スイッチを押すと「おふろで呼んでいます。」と音声が流れます。

【ふろ沸き上がりコール】
・自動運転・予約運転で設定したふろ温度まで沸上げると「おふろが沸きました。」と音声が流れます。



■増設リモコン
〔36－044〕（別売品）
台所、浴室以外の部屋から運転スイッチの「入」「切」、給湯湯温調節、自動運転ができます。

各部の名前と参照ページ、使用方法は、台所リモコンと同じ操作ですが予約スイッチと予約ランプはありません。

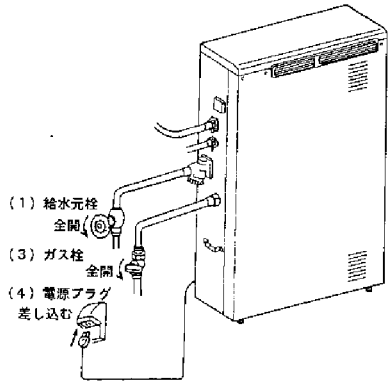


はじめて使うとき

機器および機器周辺の点検・確認を行ってください。（４２ページ）

1 初めてお使いになるときはまず…

（１）給水元栓（機器の側面）を全開にします。
（２）給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉じます。
（３）ガス栓（機器の側面）を全開にします。
（４）電源プラグ（機器の周辺）をコンセントに差し込みます。



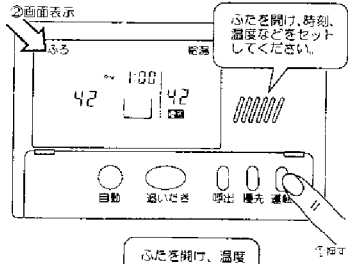
（２）給湯栓

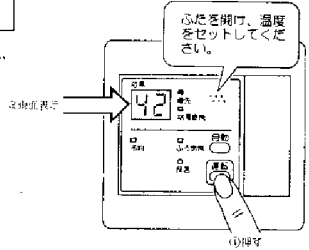
2 リモコンの「運転」スイッチを押し「入」にします。

●リモコンから「音声ガイド」が２回流れます。

この音声ガイドは、はじめて電源を入れたときや停電復帰後などにより５分以上通電が止まった後に「運転」スイッチを押したときだけ流れます。

●お買い上げいただいたときの給湯湯温、ふろ湯温は、４２℃です。



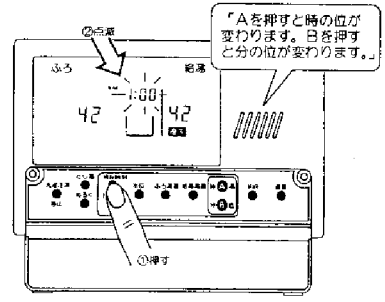


現在時刻の合わせかた

「運転」スイッチが「切」でも操作できます。

1 浴室リモコンのふたを開け「現在時刻」スイッチを押します。

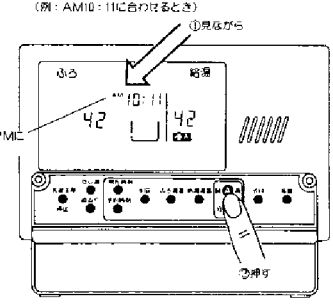
●現在時刻表示が点滅します。
●浴室リモコンの「音声ガイド」が２回流れます。



2 現在時刻を合わせます。

ＡＭ（午前）・ＰＭ（午後）に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

１．浴室リモコンの「時 Ⓐ 高」スイッチを押して時の位を合わせます。
「分 Ⓑ 低」スイッチを押して分の位を合わせます。
２．「現在時刻」スイッチを押します。
●時刻表示の点滅が止まります。
３．ふたを確実に閉じます。



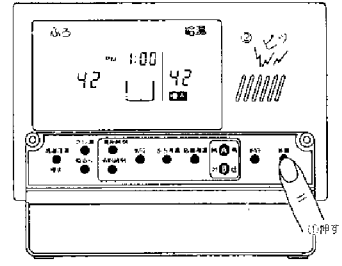
音量調節のしかた

●リモコンからは、操作方法を説明する音声とブザーが流れます。音声の音量は、浴室リモコン、台所リモコンそれぞれで独立していますのでお好みに応じて、それぞれ調節してください。
●画面に表示が出ていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。表示が出ていないときは「運転」スイッチを押します。

1

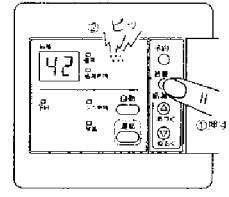
リモコンのふたを開け

1．「音量」スイッチを押します。



●1回押すごとに音量がかわります。
●音量判断のための「ピッ」音が鳴ります。

大　『ピッ』
中　『ピッ』
小　『ピッ』
無音・・・「音声ガイド」は、流れませんが、台所リモコンの呼出しコールは流れます。



2．ふたを確実に閉じます。

自動運転終了時の浴室リモコンのブザーと台所リモコンのふろ沸き上がりコール及びスイッチ操作時の「ピッ」音の音量は、調節できません。

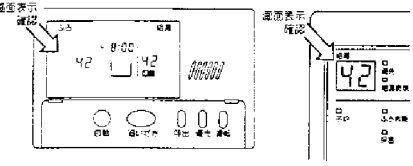
使用方法

給湯・シャワー

●初めてお使いのときや、電源プラグを抜いたことにより5分以上通電が止まった後、再通電したときは給湯湯温表示が42℃となります。再度、セットしなおしてください。
●通常、給湯湯温は「運転」スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯湯温が60℃に設定されていた場合はやけど等の危険防止のため、再度、「運転」スイッチを入れたとき、自動的に55℃に設定が変更されます。
●60℃の湯温設定でのやけど防止のため、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
●表示している湯温と給湯栓から出る湯温は配管の長さや外気温等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
●自動運転中に出湯すると、ふろの設定湯温で出湯されます。自動運転が終了（音声でお知らせします。）した後、再度出湯したときに給湯の設定湯温に戻ります。

1

給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。



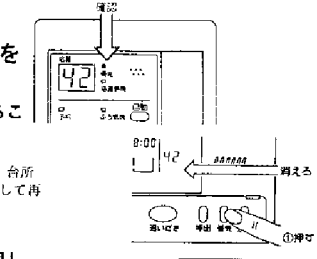
●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2

給湯湯温調節をします。

■台所リモコンで湯温調節をしたいとき

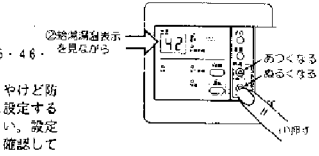
1．「優先ランプ」が点灯していることを確認します。



●「優先ランプ」が点灯していないときは、台所リモコンの「運転」スイッチを「切」にして再度「入」にします。

台所リモコンのふたを開け

2．「給湯湯温調節」スイッチを押し、湯温設定します。



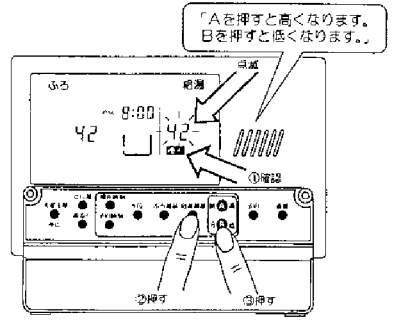
●湯温は37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60℃の14段階設定です。
●55℃以下の湯温で給湯・シャワー使用中は、やけど防止のため60℃には設定できません。60℃に設定するときは、一旦出湯を停止してから行ってください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

3．ふたを確実に閉じます。

⚠警告
●シャワー使用中に優先の変更、および台所リモコンでの給湯湯温調節をしないでください。シャワーの温度が急に変わって危険です。

ご注意
●「優先ランプ」が点灯していないときに「給湯湯温調節」スイッチを押すと『「運転」スイッチを入れ直してから、温度をセットしてください。』と音声が流れます。
●自動運転中に「給湯湯温調節」スイッチを押すと警告音「ピッ…」（ピッが5回）が鳴ります。

■浴室リモコンで湯温調節をしたいとき



1．優先 が表示されていることを確認します。

●優先 が表示されていないときは、浴室リモコンの「優先」スイッチを押します。

浴室リモコンのふたを開け

2「給湯湯温設定」スイッチを押します。

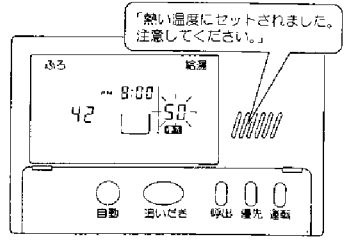
●給湯湯温表示が点滅し、音声ガイドが2回流れます。

3．調節スイッチを押して、湯温設定します。

●湯温は37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・50・55・60℃の14段階設定です。

●55℃以下の湯温で給湯・シャワー使用中はやけど防止のため60℃には設定できません。60℃に設定するときは、一旦出湯を停止してから行ってください。設定するときは、他の場所で使われていないことを確認してから行ってください。

●50℃以上に設定すると音声ガイドが2回流れます。台所リモコンで50℃以上に設定したときも音声ガイドが流れます。



4．「給湯湯温設定」スイッチを押します。

●給湯湯温表示の点滅が止まります。

5．ふたを確実に閉じます。

ご注意

●浴室でシャワーを使用するときは、浴室リモコンに 優先 を表示させ、給湯湯温表示を確認してください。浴室リモコンに 優先 が表示されているときは、台所リモコンで給湯湯温の調節はできません。

●優先を切り替えたとき、切り替え前のセット湯温が60℃であると、55℃に自動的にセットされます。

●自動運転中に「給湯湯温設定」スイッチを押すと警告音「ピッ…」（ピッが5回）が鳴ります。

●設定温度が55℃以下で給湯使用中に、60℃に温度を調節することはできません。60℃に調節しようとすると警告音「ピッ・・・・」（ピッが5回）が鳴ります。

優先切替について

●危険防止のため、給湯湯温を調節できるリモコンは、どちらか一方に限られます。

●湯温調節ができるリモコンに優先があるといいます。

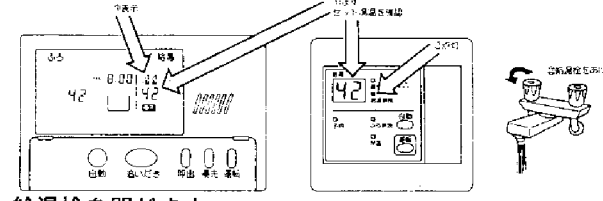
●優先は、「優先」スイッチを押すごとに、浴室リモコンまたは、台所リモコンに切り替ります。

●浴室リモコンで、「運転」スイッチを「入」にすると、浴室リモコンに 優先 が表示され浴室リモコンで湯温の設定ができます。

●台所リモコンで、「運転」スイッチを「入」にすると、台所リモコンに「優先ランプ」が点灯し、台所リモコンで湯温の設定ができます。

3 給湯栓を開けます。

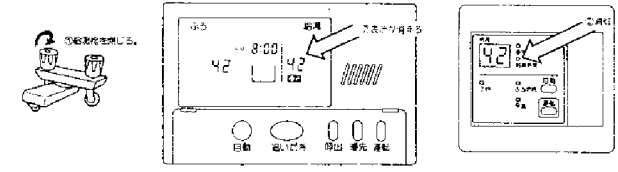
●点火すると「給湯燃焼表示」（🔥）が表示され（台所リモコンは、給湯燃焼ランプが点灯）しばらくしてお湯が出ます。



4 給湯栓を閉じます。

●お湯が止まると「給湯燃焼表示」（🔥）（台所リモコンは、給湯燃焼ランプ）が消えます。
（他の給湯栓で使用中だったり、自動で浴槽にお湯を入れているときは消えません。）

●給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。



増設リモコン［36－044］（別売品）を取り付けているお宅では

●台所リモコンに優先があるときは、増設リモコンにも優先があります。

●増設リモコンの「運転」スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンは連動していますので、給湯湯温は設定したリモコン側の湯温になります。

●給湯湯温が60℃の設定のリモコンに優先を移した場合は、危険防止のため、自動的に55℃にセットされます。

⚠警告

●セットしてある湯温が高温になっている場合もありますのでシャワー等をお使いのときは、手で湯温を確認してからお使いください。

ご注意

●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまではしばらくお湯は出ません。
（配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。）

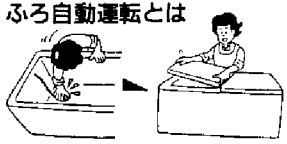
●給湯栓を絞りすぎると（2．5ℓ/分以下）熱いお湯が出たり、消火することがあります。

●夏期水温が30℃近くなると、低温にセットしても給湯栓から出るお湯の量が少ない場合には湯温が高くなります。このような場合には給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、水と混合してお使いください。

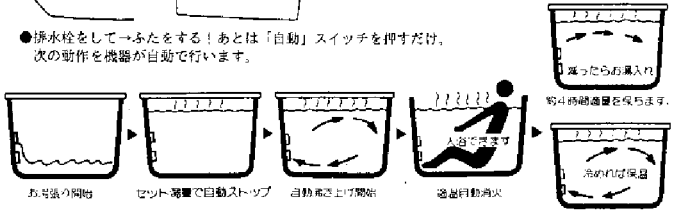
●「運転」スイッチを「切」にした後、再度、「運転」スイッチを「入」にしたリモコンに優先表示または「優先ランプ」が点灯し、優先を移すことができます。ただし、この方法で優先を切り替えると、他の機能の運転、たとえばふろの自動運転や、追いだき運転、洗濯（洗濯注湯配管をしてある場合）などが運転中だった場合、それらすべてが停止してしまいますので注意してください。優先切替は、浴室リモコンの「優先」スイッチで操作することをおすすめします。

ふろ自動運転

ふろ自動運転とは



●排水栓をして→ふたをする！あとは「自動」スイッチを押すだけ。
次の動作を機器が自動で行います。



●お湯の入れ過ぎや沸かし過ぎがなく、上下均一に沸き上がります。

1 運転前の準備をします。

1．排水栓をします。

●おふろを沸かす前に必ず、排水栓をしてください。

2．浴槽のふたをします。

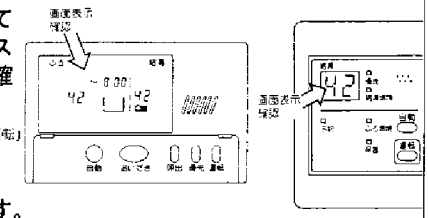
●この機器は浴槽にふたをしたままお湯張りができます。

ご注意

●排水栓をしわすれると、自動運転を開始してから約４０分後浴室リモコンに「０３２」が点滅（台所リモコンは、「０３」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅）し、運転が停止します。排水栓をして、一旦、「運転」スイッチを「切」にし、約５秒後に再度、「運転」スイッチを「入」にして自動運転を行ってください。

●台所リモコンではふろ湯温と水位の設定はできません。浴室リモコンで行ってください。
●初めてお使いのときや、電源プラグを抜いたことにより５分以上通電が止まった後、再通電したときはふろ湯温表示が４２℃、水位は４０となります。再度セットしなおしてください。
●表示する湯温と表示する水位は、水温や水圧により実際とは異なる場合があります。目安としてお使いください。

2 給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。



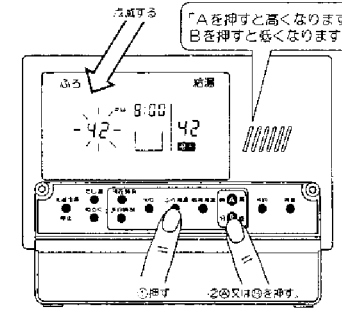
●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

3 ふろ湯温を設定します。

●２回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

1．ふたを開け「ふろ湯温設定」スイッチを押します。

●「ふろ湯温表示」が点滅します。
●音声ガイドを２回繰り返します。



2．調節スイッチを押して、湯温設定します。

ふろ湯温を高くする→「時Ⓐ高」を押す。
ふろ湯温を低くする→「分Ⓑ低」を押す。

調節範囲	３７℃～３９℃	４０℃～４３℃	４４℃～４８℃
	１℃ずつ		
ご使用目安	ぬるい	標　準	あつい

3．「ふろ湯温設定」スイッチを押します。

●「ふろ湯温表示」の点滅がとまります。

4 ふろ水位を設定します。

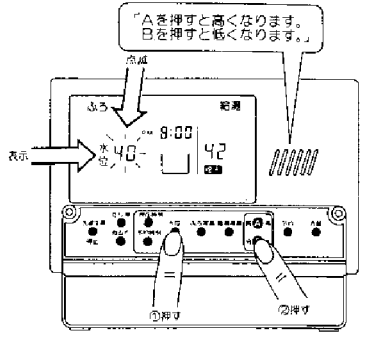
●２回目以後は記憶されますので、セットする必要はありません。

1．ふたを開け「水位」スイッチを押します。

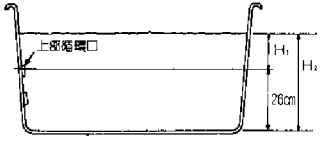
●「水位」の表示がされ、水位の値が点滅します。
●音声ガイドが２回流れます。

2．調節スイッチを押して水位設定します。

水位を高くする→「時Ⓐ高」を押す。
水位を低くする→「分Ⓑ低」を押す。



水位設定について



画面表示の値	
浴槽の底からの水位（H₂）	循環口からの水位（H₁）
54	28
52	26
50	24
48	22
46	20
44	18
42	16
40	14
38	12
※36（37）	11
※34（36）	10
※32（35）	9
※30（34）	8

※印の画面表示の値は表示であり、（ ）内の数値でお湯張りされます。但し、目安ですので水温や水圧により異なりますのでご了承ください。
水位を示す数値（H₁）（H₂）はおよその目安です。水温や水圧により異なりますのでご了承ください。
［単位：ｃｍ］

3．「水位」スイッチを押します。

●変更された水位の値が点灯し、ふろ湯温表示に戻ります。

4．ふたを確実に閉じます。

一口メモ

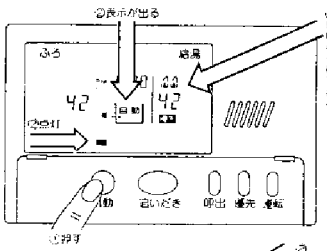
●設定は記憶されますので、２回目以後、セットする必要はありません。

ご注意

●水位を示す数値（H寸法）はおよその目安です。水温や水圧により異なりますのでご了承ください。
●（H1）（H2）は上部循環口の中心が浴槽の底から２６cmを目安にしてあります。循環口の取付位置は浴槽の種類、材質および施工時の状況等により異なりますのでご了承ください。
●浴槽の種類や施工条件によっては、あまり多めにセットするとあふれることも考えられます。最初は、初期設定（４０ｃｍ）で自動運転させ、そのときの実際の水位を確認してから、お好みの水位に増減することをおすすめします。

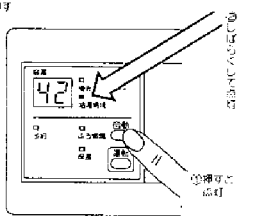
5 「自動」スイッチを押します。

●台所リモコン、浴室リモコンのいずれでも操作できます。



A 浴室リモコン

●「自動ランプ」が点灯し、画面に・ピ が表示され、しばらくして「給湯燃焼表示」（🔥）が表示されます。
●おふろの循環口からお湯が出てきます。

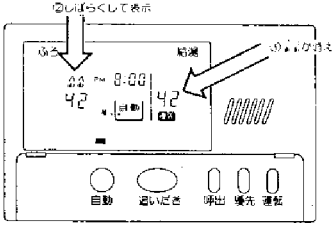


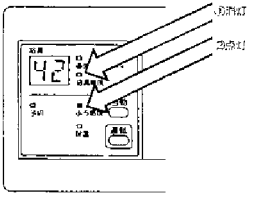
B 台所リモコン

●スイッチを押した後「自動でおふろを沸かします。」「おふろの栓をしましたか。」と音声ガイドが２回流れます。
●「自動」スイッチが点灯し、しばらくして「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
●おふろの循環口からお湯が出てきます。
●設定水位に近づくと台所リモコンから「もうすぐ、おふろに入れます。」と音声ガイドが２回流れます。

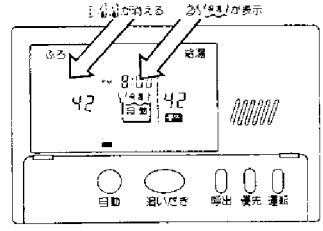
1．設定水位までお湯張りしますと自動的に循環口から出ていたお湯が止まり、おふろの湯を循環して沸かし上げます。

●このとき「給湯燃焼表示」（🔥）（浴室リモコン）、「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が消えます。そして、「ふろ燃焼表示」（🔥）（浴室リモコン）が表示、「ふろ燃焼ランプ」（台所リモコン）が点灯します。



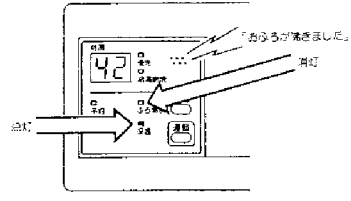


2．浴室リモコン、台所リモコンが沸き上がったことを知らせます。



●ふろ湯温まで沸き上がりますと「ふろ燃焼表示」（🔥）（台所リモコンは、ふろ燃焼ランプ）が消えます。
●浴室リモコンからブザーが鳴り、台所リモコンからは、「おふろが沸きました」と音声ガイドが2回流れます。
●同時に「保温表示」が表示されます。これは、ふろの湯温と湯量を機器が見はっていることを表わしています。

おふろが沸き上がりましたので入浴できます。
●おふろのお湯を使うときは、手で湯かげんを確かめてから使ってください。入浴する際も、湯かげんを手で確かめてから入浴してください。



3．自動的に約4時間水位と湯温を保ちます。

（浴室リモコンは「自動ランプ」点灯 自動 表示。台所リモコンは、自動スイッチ・「保温ランプ」点灯。）

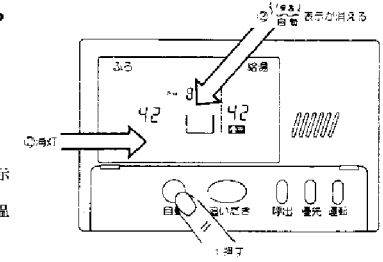
●沸き上がりから約4時間は30分ごとにポンプが回り、湯温を検知し、湯温が下がっていると自動的にセット湯温まで沸かし上げ保温します。
（ときどき「ふろ燃焼表示」（🔥）「ふろ燃焼ランプ」が表示されます。）
また湯量がセット水位より約3cm減ると自動的に循環口からお湯が出て、セット水位までたし湯します。
●約4時間経過すると自動的に停止します。
浴室リモコンは「自動ランプ」消灯、自動 表示が消えます。
台所リモコンは、自動スイッチ・「保温ランプ」が消灯します。

ご注意

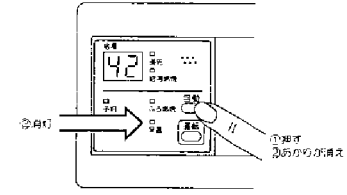
●自動運転のお湯張り中に台所等でお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。
●自動お湯張り中、他で給湯栓を開くと、お湯は両方に分配されますので、お湯張り時間は長くなります。
●入浴する際は、必ず湯かげんを手で確かめてから入浴してください。

6 自動運転・保温運転をやめたいとき

1．「自動」スイッチを押します。



●どちらのリモコンでも操作できます。
●「自動ランプ」が消灯し、自動 表示が消えます。（浴室リモコン）
●台所リモコンは自動スイッチ・「保温ランプ」が消灯します。



7 沸かし直し

●前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「ふろ自動運転」とまったく同じ手順で行います。
セット水位より湯量が減っている場合は、セットした水位までたし湯したうえでセット湯温に沸かし上げます。

浴槽の水を排水するとき

●ふろがま内にたまったゴミなどの掃除のために次の動作が行われます。
浴槽の水を排水するときに、水位が上部循環口より下がってから、約3分後に給湯設定温度で約1分間、自動的に浴槽へ注湯されます。（ただし、リモコンの運転スイッチが「入」のときのみ行います。）このとき、循環口フィルターの内部にゴミがたまりやすくなりますので、お手入れの際は循環口フィルターを外し、表裏両面を掃除してください。また、給湯・シャワーなどを使用中の場合は、行いません。

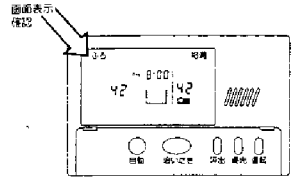
追いだき運転

追いだき運転とは
●入浴時、おふろのお湯がぬるくなって、もっと熱くしたいときに操作します。

1 リモコン画面に

給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

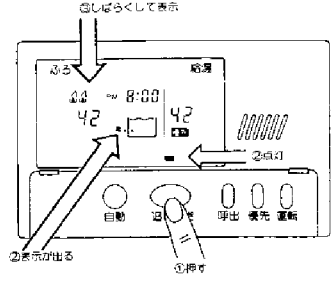
●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



2 浴室リモコンの

「追いだき」スイッチを押します。

●画面に「追いだきランプ」が点灯し、▪[ ]が表示され、しばらくして、「ふろ燃焼表示」（🔥）が表示します。（浴室リモコン）台所リモコンは、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。



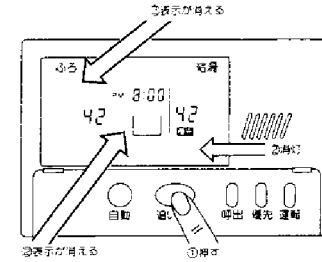
ご注意

●浴槽の上部循環口より、上に湯（水）があるとき操作してください。上部循環口より上に湯（水）がない状態で「追いだき」スイッチを押しますと、浴室リモコンに「042」が点滅（台所リモコンは「04」とふろ燃焼ランプが点滅）し、運転が停止します。この場合は、一旦「運転スイッチを「切」にし、約5秒後に再度「運転」スイッチを「入」にして「自動」スイッチを押してください。

3 お好みの湯かげんになったら

「追いだき」スイッチを押します。

●「追いだきランプ」が消灯し、▪[ ]と「ふろ燃焼表示」（🔥）が消えます。（浴室リモコン）台所リモコンは、「ふろ燃焼ランプ」が消えます。



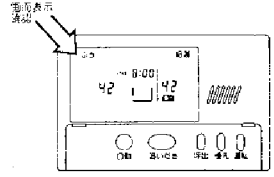
●停止の操作をしない場合は、自動的に停止します。ただし、沸き上がりの湯温は2通りとなります。
1．前日の沸かし直しの場合は、設定温度で停止します。
2．保温中など、おふろの湯温がほぼ設定温度かそれ以上の場合は、現在温度＋2℃（例えば、42℃の場合44℃）で停止します。
●さらにあつくしたいときはもう一度追いだきスイッチを押します。現在の湯温より2℃高く沸き上げます。沸き上げている途中でお好みの湯かげんになったらもう一度追いだきスイッチを押して停止してください。

使用方法

ぬるく運転

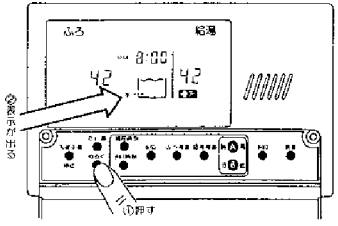
ぬるく運転とは（浴室リモコンで操作）
- おふろのお湯があつく、ぬるくするときに操作します。
- 約１２ℓ水を入れてから自動停止し、その後約１分間のかくはんを行います。この操作によりおふろがぬるくなります。
- もっとぬるくしたいときは、もう一度「ぬるく」スイッチを押してください。

1 **給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。**



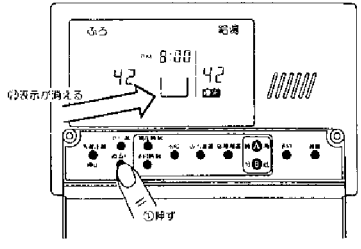
- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2 浴室リモコンのふたを開け
「ぬるく」スイッチを押します。



- 画面に、▭が表示され、しばらくしておふろの循環口から水が出てきます。

3 お好みの湯かげんになったら
「ぬるく」スイッチを押します。



- 、▭表示が消えます。
（ぬるく停止の操作をしない場合は、約１２ℓ水を入れ続けてから自動停止し、その後約１分間のかくはんを行います。かくはん後、、▭の表示が消えます。）
- ふたを確実に閉じます。

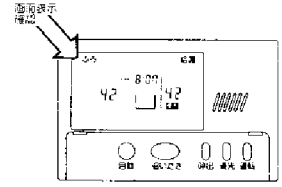
ご注意
- 自動運転中（終了ブザーが鳴り終わるまで）は、「ぬるく」スイッチは使用できません。（スイッチを押すと、警告音「ピッ・・・・」（ピッが５回）が鳴ります。）

使用方法

たし湯運転

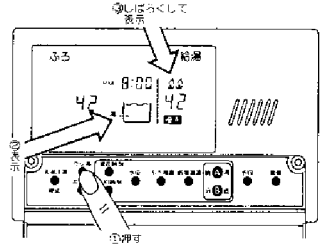
たし湯運転とは
- おふろのお湯の量を増やしたいときに操作します。
- 「ふろ設定湯温」のお湯が約水位４ｃｍ、おふろにたし湯されます。

1 **給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。**



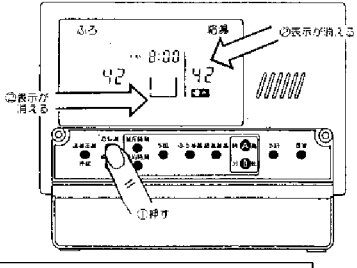
- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。

2 浴室リモコンのふたを開け
「たし湯」スイッチを押します。



- 画面に▪▭が表示され（浴室リモコン）、しばらくしておふろの循環口から湯が出てきます。このとき「給湯燃焼表示」（🔥）（浴室リモコン）が表示されます。（台所リモコンは、「給湯燃焼ランプ」が点灯します。）

3 お好みのお湯入れ量になったら
「たし湯」スイッチを押します。



- ▪▭表示が消え、「給湯燃焼表示」（🔥）（浴室リモコン）、「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が消えます。
（たし湯運転停止の操作をしないときは、約４ｃｍたし湯し、その後自動的に約１分間のかくはんを行います。かくはん後▪▭の表示が消えます。）
- ふたを確実に閉じます。

ご注意
- 自動運転中（終了ブザーが鳴り終わるまで）は、「たし湯」スイッチは使用できません。（スイッチを押すと、警告音「ピッ・・・・」（ピッが５回）が鳴ります。）

使用方法

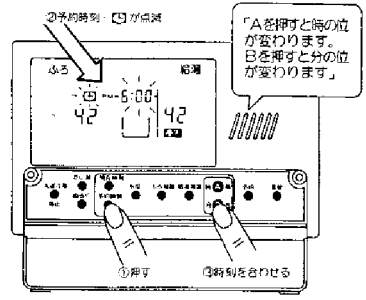
ふろの予約時刻の合わせかた

●「運転」スイッチの「入・切」に関係なくセットできます。
●リモコンの表示画面の現在時刻が合っているか確認してください。現在時刻が合っていない場合は、１６ページを見て合わせてください。
●予約時刻は沸き上げが完了する時刻です。

1 浴室リモコンのふたを開け

「予約時刻」スイッチを押します。

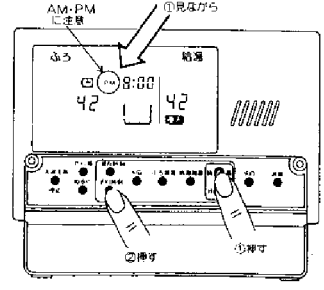
●「予約時刻」が表示され、時計の数字・🕒が点滅します。
●音声ガイドが２回流れます。



2 予約時刻を合わせます。

AM（午前）・PM（午後）に注意して押してください。
スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

1．浴室リモコンの
「時Ⓐ高」スイッチを押して時の位を合わせます。
「分Ⓑ低」スイッチを押して分の位を合わせます。
2．「予約時刻」スイッチを押します。
●時刻表示の点滅が止まり、３秒後現在時刻に変わります。
3．ふたを確実に閉じます。



使用方法

ふろの予約運転

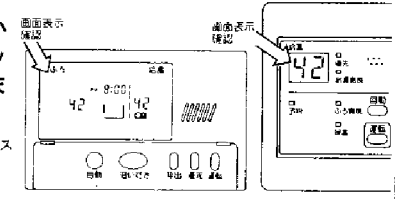
おふろ沸かし予約運転とは
●予約時刻をセットしておけばその時刻に入浴できるよう、機器が自動でおふろを沸かします。
（どちらのリモコンでも予約運転できます。）

●浴槽の排水栓が閉まっていることとふたを閉めてあることを確認してください。
●現在時刻、予約時刻を確認してください。
●ふろの湯温設定・水位設定を確認してください。
●セットした予約時刻は記憶されていますので入浴する時刻が決まっているときは予約時刻を毎日セットする必要はありません。
●予約運転で、おふろを沸かしたときも保温・たし湯動作はします。

1 リモコン画面に

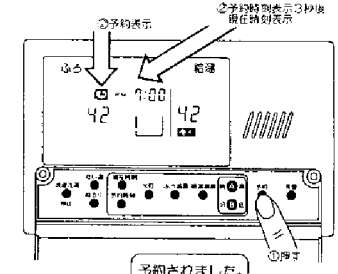
給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

●表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



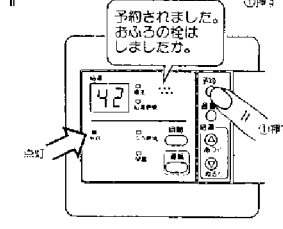
2 リモコンのふたを開け

1．「予約」スイッチを押します。
●🕒が表示されます。
（台所リモコンは「予約ランプ」が点灯し、音声ガイドが流れます。）
●予約時刻が表示されますが、３秒後には現在時刻表示に変わります。



2．ふたを確実に閉じます。
●予約表示が表示された後は、「運転」スイッチを「切」にしても、予約運転をします。このとき🕒と現在時刻のみ表示されます。（台所リモコンは「予約ランプ」点灯。）
●予約時刻の約４０分前からふろ自動運転が始まり、予約時刻にはおふろに入れます。

水温や浴槽の大きさにより、お湯はり完了時刻が前後することがあります。



3 ■予約を取り消したいときは

1．「予約」スイッチを押します。

- 予の表示が消えます。（台所リモコンは、「予約ランプ」が消灯します。）
- すでに自動運転がはじまり、自動の表示がされているときは、「自動」スイッチを押します。
  自動の表示が消えて運転が停止します。

■予約時刻を確認したいときは

1．「予約時刻」スイッチを押します。

- 予約時刻表示が点滅しますので確認してください。

■予約時刻を変更したいときは

- 「ふろの予約時刻の合わせかた」と同じ操作で変更できます。（31ページ参照）

ご注意

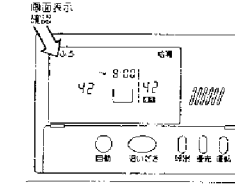
- 自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は「予約」スイッチは、操作できません。
- 予約をセットした後、「自動」・「追いだき」・「たし湯」・「ぬるく」スイッチを押すと予約が解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いたことにより、5分以上通電が止まった後、再通電したときは、現在時刻や予約時刻が初期設定時間（現在時刻：AM1：00、予約時刻：PM6：00）になりますので、再セットが必要です。（16ページ、31ページ参照）
- 予約した後に停電があると、予約が解除されます。（おふろ沸かしをしません。）

洗濯注湯

洗濯注湯とは
- 洗濯時、お湯を使いたいときに操作します。（すすぎは水になります）
- 「給湯設定湯温」のお湯が約8分間出ます。
- 洗濯注湯の使用温度は37℃～45℃の範囲で使用できます。
  洗濯する衣類によって温度を調節してください。

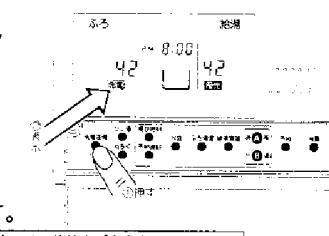
1 給湯湯温が表示されていること（「運転」スイッチが「入」）を確かめます。

- 表示が出ていないときは、「運転」スイッチを押します。



2 浴室リモコンのふたを開け「洗濯注湯／停止」スイッチを押します。

- 画面に 洗濯 が表示されます。

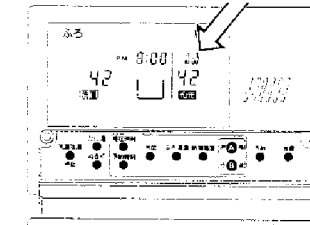


3 洗濯機をスタートさせます。

洗濯機に、注湯開始より約8分間お湯が出ます。その後は水が出ます。

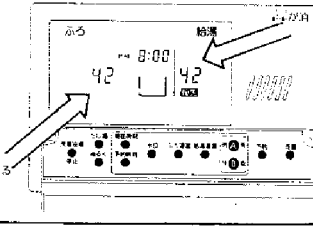
■全自動洗濯機（止水機能付二槽式洗濯機）をご使用の場合

1．**自動的に注湯をはじめます。**
このとき、「給湯燃焼表示」（浴室リモコン）が表示されます。「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が点灯します。）



2．**約8分後、自動的に水に切り替わります。**
このとき、「給湯燃焼表示」・洗濯 表示（浴室リモコン）が消え、「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が消えます。

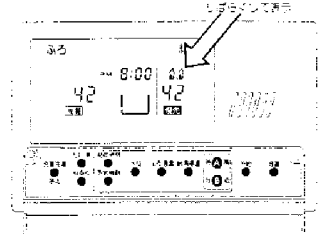
3．**その後の動作は水で行います。**



■二槽式洗濯機をご使用の場合

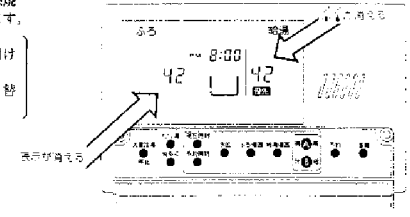
自動的に注水、止水はできません。洗濯注湯用蛇口の開け閉めが必要です。

1．洗濯注湯用蛇口を開けます。
このとき、「給湯燃焼表示」（浴室リモコン）が表示されます。「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が点灯します。）



2．ご希望の水位で蛇口を閉じます。
このとき、「給湯燃焼表示」表示（浴室リモコン）が消え、「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が消えます。

洗濯 表示は、洗濯注湯用蛇口を開けてから、約8分後に消えます。
表示が、消えると、湯から水に切り替わります。

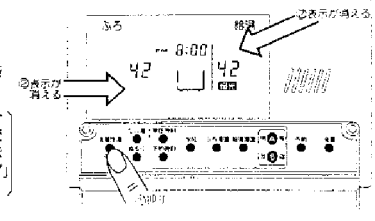


4 お湯を止めたいとき

「洗濯注湯／停止」スイッチを押します。

●「給湯燃焼表示」・洗濯 表示（浴室リモコン）が消え、「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が消えます。

洗濯注湯停止の操作をしないときは、約8分間お湯が出て、その後自動的にお湯が水に変わります。「給湯燃焼表示」・洗濯 表示（浴室リモコン）が消え、「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が消えます。



●ふたを確実に閉じます。

⚠注意
●ウールなど、お湯洗濯できないものがありますので注意してください。

ご注意
●自動運転中（保温終了まで），追いだき運転中は、「洗濯注湯／停止」スイッチは使用できません。（スイッチを押すと，警告音「ピッ・・・・」（ピッが5回）が鳴ります。）
●「洗濯注湯／停止」スイッチが使用できない場合は、水が出ますので水で洗濯してください。
●給湯設定湯温が46℃以上の場合に、洗濯注湯を行うと自動的に45℃に設定が変わります。使用後は給湯設定湯温に戻ります。

凍結による破損予防

冬季の凍結による破損予防の方法は

●機器が凍結すると、給湯ができないばかりでなく水漏れ故障の原因になります。
●この機器の凍結予防方法は次の3つのケースでやり方が変わります。
①凍結予防装置による方法
②水を流す方法
③機器の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合）

1 凍結予防装置による方法

●この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。
通常は機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。
●自動凍結予防装置は「運転」スイッチの「入」・「切」に関係なく作動します。
●浴槽の残り湯は捨ててください。
●電源プラグがコンセントに差し込まれている
ことを確認してください。
抜けていると凍結予防装置が作動しませんの
でご注意ください。

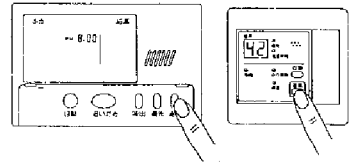
ご注意
●電源プラグがコンセントから抜かれていると作動しませんのでご注意ください。
●この方法では、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結予防はできませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。
●次の朝、お使いになるときは給湯栓を開けて、水が出ることを確認してから運転スイッチを「入」にしてください。
●凍結予防装置が凍結を予防できるのは外気温－15℃程度までですので特に寒いときや寒波などが予想されるときは、はやめに「水を流す方法」「機器の水を抜く方法」による凍結予防の処置を行ってください。
●機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

2 水を流す方法

●この場合は、機器本体だけでなく給水給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

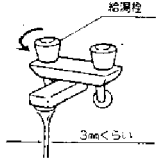
■給湯側の凍結予防

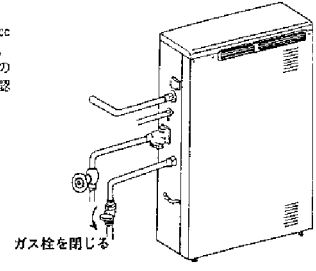
①「運転」スイッチを「切」にします。



②ガス栓を閉めます。

③浴室の給湯栓を開け、１分間に約２００cc（牛乳ビン１本ぐらい）を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため３０分くらい後にもう一度流量を確認してください。





ご注意

●家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。
水を止めると凍結します。

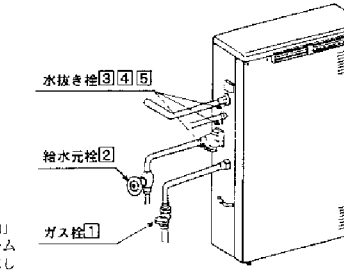
■ふろ側の凍結予防

●浴槽の残り湯は捨ててください。

3 機器の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合）

使用後、すぐに水抜きをしない。
機器やお湯が高温になっているので冷えてから行う。

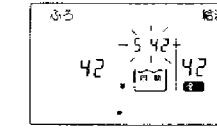
●長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。



①ガス栓1を閉じます。
②給水元栓2を閉じます。
③すべての給湯栓を全開にします。
④浴槽の水をすべて排水します。
⑤水抜き栓3 4 5を外します。

⑥浴室リモコンの「運転」スイッチ、「自動」スイッチを順に「入」にし、画面にアラーム番号「５４２」が点滅するまでそのままにします。

<浴室リモコンの画面表示>



⑦電源プラグを抜きます。
●以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

⑧浴槽の残り湯を捨ててください。

●機器を再使用するときは逆の順序で行います。給水栓を開き、水漏れがないかを確認してください。

凍結したときは

●凍結した場合、ガス栓・給水元栓を閉じてください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。運転スイッチ「切」の状態で給湯栓を開けて水が出てくればご使用になれます。
●通水したら、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。
●機器や配管が破損しますと高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

故障かな？

一度確認してください

現象	点検項目
画面に表示が出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか（15ページ）
	停電していませんか（8ページ）
アラーム番号「032」「542」が点滅（台所リモコンは、「03」「54」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅）し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか（15ページ）
	断水していませんか
	おふろの排水栓はしっかりはまっていますか（21ページ）
「給湯燃焼表示」（🔥）「給湯燃焼ランプ」（台所リモコン）が点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか（15ページ）
	給水元栓が全開になっていますか（15ページ）
	断水していませんか
	給湯栓が十分開いていますか（20ページ）
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか（20ページ）
	湯温調節は適切ですか（18・19ページ）
	混合水栓やサーモミキシングバルブをお使いの場合は、リモコンの給湯湯温を60℃にセットしてください。
「ふろ燃焼表示」（🔥）「ふろ燃焼ランプ」（台所リモコン）が点灯しない	ガス栓が全開になっていますか（15ページ）
	浴槽に水が入っていますか
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか（15ページ）
浴槽の水があつい（ぬるい）	ふろ湯温のセットは適切ですか（22ページ）
浴槽の水が少ない（多い）	お湯入れ量のセットは適切ですか（23ページ）
アラーム番号「632」が点滅（台所リモコンは「63」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅）し、作動しない	浴槽のフィルターがつまっていませんか（43ページ）
アラーム番号「042」が点滅（台所リモコンは「04」と「ふろ燃焼ランプ」が点滅）し、作動しない	浴槽に水が入っていますか（27ページ）

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、「浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき」（40ページ）の項目を参照してください。

次のような場合は故障ではありません

現象	原因と対策
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は流水量が2．5ℓ／ｍｉｎ以下になったときには消灯します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、全く無害なものです。
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白煙となりますが、故障ではありません。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約30秒間は回転しています。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」・「自動」・「追いだき」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時計表示が合っていない	停電後、再通電すると表示画面の時計表示が「AM1：00」になります。なお、水位・湯温表示・予約時刻も初期状態になりますので再設定してください。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽の湯温を検知するため30分毎に回ります。

浴室リモコンにアラーム番号が表示されたとき

●不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
●アラーム番号が表示、点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは、表示されてるアラーム番号もお知らせください。
（例）12：15（時計表示）→111（アラーム表示）

アラームNO	内容	処置方法	使用状態
032	注湯時間異常	おふろの排水栓を確認後リセット※	自動・追いだき
042	空だき水位異常	修理を依頼する	追いだき
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット操作※	給湯・自動・たし湯
112	ふろ側点火不良	ガス栓確認後リセット操作※	自動・追いだき
121	給湯側失火	修理を依頼する	給湯・自動・たし湯
122	ふろ側失火		自動・追いだき
140	空だき安全装置作動、元電磁弁回路不良		給湯・自動・たし湯・追いだき
311	出湯温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
312	ふろサーミスタ断線		自動・追いだき
315	洗濯注湯サーミスタ断線短絡		洗濯注湯
321	入水温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
331	混合温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯
391	サーモカップル異常		給湯・自動・たし湯
432	水位センサー異常		自動
510	元電磁弁故障		給湯・自動・たし湯
511	給湯電磁弁故障		給湯・自動・たし湯
512	追いだき電磁弁故障		自動・追いだき
542	注湯電磁弁異常		自動
545	洗濯切替弁異常		洗濯注湯
561	バイパス水電磁弁異常		給湯
611	給湯ファン回転異常		給湯・自動・たし湯・追いだき
612	ふろファン回転異常		給湯・自動・たし湯・追いだき
632	ポンプ異常		自動・追いだき
651	水制御弁異常		給湯
700	電装基板故障		
711	給湯電磁弁回路不良		給湯・自動
712	ふろ電磁弁回路不良		自動・追いだき
721	給湯側プリ・ポスト不良		給湯・自動・たし湯
722	ふろ側プリ・ポスト不良		自動・追いだき
760	リモコン通信異常		
795	洗濯切替弁回路不良		洗濯注湯
101	自己診断能力ダウン		給湯・自動・たし湯
991	自己診断燃焼異常		給湯・自動・たし湯

＊台所リモコンは、簡易表示のため、アラーム番号の左側2桁を表示・点滅します。給湯側の場合は、アラーム番号と給湯燃焼ランプが同時に点滅します。ふろ側の場合はアラーム番号とふろ燃焼ランプが同時に点滅します。ただし、アラーム番号140、510、700、760の場合は燃焼ランプは点滅しません。
※リセット操作：「運転」スイッチを一度「切」にし、約5秒後再度運転スイッチを「入」にする。

安全装置の種類とその働き

●この機器には次の様な安全装置が組み込まれています。

- **立消え安全装置**（フレームロッド方式）… バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスを自動的に停止します。
- **空だき安全装置**（バイメタル式）… 熱交換器が空だきしたときに作動し、燃焼を自動的に停止します。
- **空だき防止装置**（水量センサー・水位センサー）… 熱交換器内に水がないとき、ガス通路を開けず空だきにならないようにします。
- **過熱防止装置**（温度ヒューズ）… 機器内部の雰囲気温度が異常に高くなったとき、作動し、燃焼を自動的に停止します。
- **過圧防止安全装置**（スプリング式）… 機器内の水通路内部の圧力が異常に高くなったとき作動し、圧力を水通路外に逃がします。
- **漏電安全装置**（漏電リレー）… 万一漏電した場合、電源を「ＯＦＦ」にする装置です。
- **送風検知装置**（回転数検知方式）… 燃焼用ファンモーターが正常に回転しないとき作動し、燃焼を自動的に停止します。
- **凍結予防装置**（電気ヒーター）… 機器内の雰囲気温が低下すると作動、機器内の凍結を予防します。
- **誘導雷保護装置**（サージアブソーバー）… 雷等による一時的な過電流・過電圧が発生した場合、電子部品を保護します。
- **残火安全装置**（バイメタル式）… 給水が停止した場合でメーンバーナーが消火しないときバーナーへのガスの通路を遮断します。

一口メモ

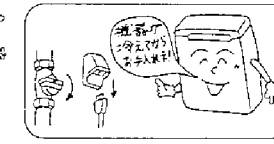
●このふろ給湯器の給湯能力は、２４号です。
（１号とは、水温より２５℃上げたお湯を１分間に１ℓ出す能力をいいます。
２４号とは、水温より２５℃上げたお湯を１分間に２４ℓ出す能力をいいます。）

●アラーム番号“１０１”のときは自己診断機能により給湯能力がさがります。（２４号から１２号）使用はできますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。
（自己診断機能とは、ふろ給湯器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいいます。自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します。）

点検とお手入れ

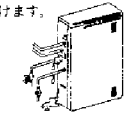
点検・手入れの際のご注意

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行ってください。
●お手入れの前にはガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
●機器のフロントカバーを外さないでください。
（機器およびリモコンは絶対に分解しないでください。）

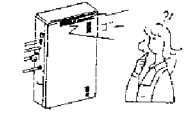


点　検

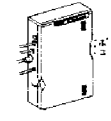
●機器および配管より水漏れはありませんか。
水漏れは、機器の故障だけでなく、お隣の方にも多大な迷惑をかけます。



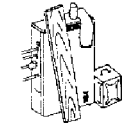
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。



●機器の外観に異常は見られませんか。



●機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか。



禁　止

●機器や配管よりガスの臭気はありませんか。

●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。フィルターがつまりますと、お湯の量が少なくなり、点火しないことがあります。

●排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が閉塞されていませんか。機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を閉塞するおそれがある場合はお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスに連絡し、設置場所を変更してください。

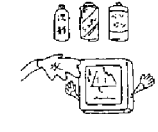
禁　止

お手入れ

●本体が汚れたとき
布または、スポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけて拭きとってください。中性以外の洗剤やベンジン、シンナーなどで拭くと塗料が変色することがあります

禁　止

●リモコンが汚れたとき
水をつけた布をかたく絞り、軽く拭きとってください。洗剤、ベンジン、シンナーなどでは拭かないでください。（注）台所リモコンには水をかけないでください。リモコン内に水が入り故障の原因となります。（浴室リモコンは防水です。）



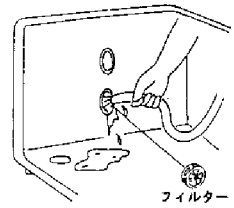
禁　止

ふろがま内および浴槽フィルターの洗浄について

●ふろがま内を自動洗浄する機能が付いていますが、長い間使用しますと湯アカがたまることがあります。浴槽内の下部循環口のフィルターを外してから交互にホースで水を強く注き、ふろがま内の湯アカを掃除してください。

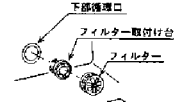
●フィルターの掃除も行ってください。
フィルターは、左に回してから手前に引けば外れます。フィルターは表裏の両面を掃除してください。

フィルターは必ず取り付けてご使用ください。フィルターを付けないで運転するとポンプ等の故障の原因になります。



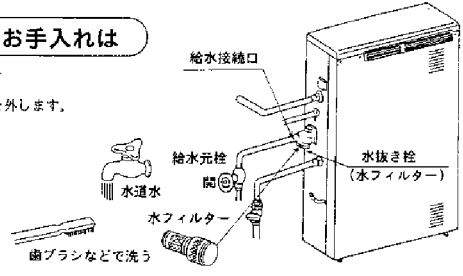
フィルター取付け台が外れた場合

フィルター取付け台を下部循環口の奥まで押し込んでください。下部循環口とフィルター取付け台の間に隙間ができるときは、回しながら押し込んでください。



給水側水フィルターのお手入れは

つぎの 要領で定期的に行ってください。
（1）給水元栓を閉じます。
（2）給水接続口にある水フィルターを外します。
（3）水フィルターを洗います。
（4）水フィルターをもとに戻します。



点検・手入れ後の確認

●点検・お手入れの後は、ガス栓を開いて、「運転」スイッチを「入」にして給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

定期点検のおすすめ

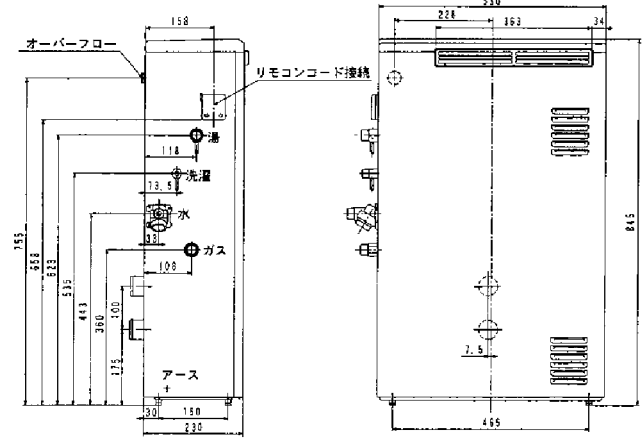
●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

●ふろがまが古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起こすことがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

寸法図

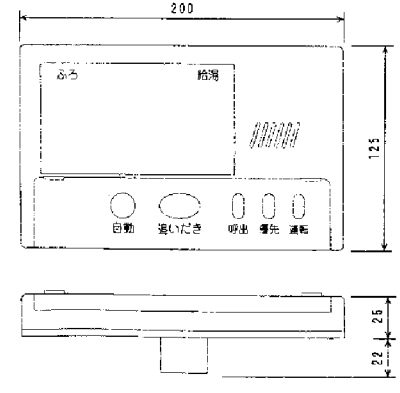
機器本体

（単位：mm）



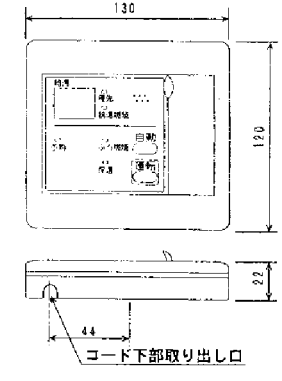
浴室リモコン

（単位：mm）



台所リモコン

（単位：mm）



仕　様

仕様表

項目		内容	補足説明
品名		31−043	
型式名		TP−FQ245A2R	定格銘板にある型式名
外形寸法(mm)／質量(kg)		幅530×奥行230×高さ845／39	給湯器の外形寸法／本体の質量
種類	給湯方式	先止め式	給湯栓の開閉で点火・消火できる給湯器
	設置・給排気方式	屋外式・強制給気式	屋外に設置しているもの
	点火方式	AC100V連続放電式（ダイレクト着火）	放電火花による点火方式
水圧	使用水圧	100〜1000kPa{1.0〜10.0kgf/cm²}	使用できる水圧
	最低作動水圧	20kPa{0.2kgf/cm²}	給湯器が作動する水圧
接続	方ス	20A（R3/4）オネジ	各配管の接続口径
	給水・給湯	20A（R3/4）オネジ	
	循環パイプ	φ45×2	
	冷・温	15A（R1/2）オネジ・閉キャップ付	
電気関係	電源	AC100V（60Hz）	使用できる電源
	リモコン側	24V以下	
	消費電力 無負荷時	20W以下	
	消費電力 同時使用時	105W	
	消費電力 凍結予防時	135W	
	電源コード	VCT（2芯）2.0m	給湯器の電源コードの種類と長さ
安全装置		過熱防止装置（温度ヒューズ式）　送風機短期装置（回転数検知方式） 立消え安全装置（フレームロッド方式）　空たき安全装置（バイメタル式） 過圧防止安全装置（スプリング式）　凍結予防装置（電気ヒーター） 誘導雷保護装置（サージアブソーバー）　漏電安全装置（漏電リレー） 残火安全装置（バイメタル式） 空たき防止装置（水量センサー・水位センサー）	安全装置の名称
付属品		浴室リモコン・台所リモコン・取扱説明書・工事説明書	
別売品		増設リモコン・リモコンコード	

能力表

使用ガス 側ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h} 給湯・ふろ同時使用	給湯（最大）	ふろ	出湯能力（最大時）（ℓ/min） 水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	ガス接続
都市ガス	13A	64.0{55,000}	52.3{45,000}	11.6{10,000}	24	15	20A（R3/4）
LPガス		64.1{4.58Kg/h}	52.5{3.75kg/h}	11.6{0.83kg/h}	24	15	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

■長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
（1）ガス栓を閉じる。
（2）給水元栓を閉じる。
（3）電源プラグを抜く。
（4）機器の水抜きを行う。〔水抜き方法は38ページを参照してください。〕

■アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

①まず「故障かな？」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスにご連絡ください。
②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
1．ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
2．品名…31−043型
（右のようなラベルを機器の前面部に貼付けてあります。）
3．現象…できるだけ詳しく
4．訪問ご希望日

(N) 31−043 (U)
大阪ガス株式会社 09

転居される場合

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証について

●このガスふろ給湯器には保証書がついています。
●保証書に記載のように、ガスふろ給湯器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によっては性能が維持できる場合は有料修理します。

補修用性能部品の最低保有期間について

●修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
●この製品の修理用性能部品（機能を維持するための必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。
但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。